

① I decided [to take a calligraphy class].

S V O V' O'

・ calligraphy 「西欧の書道、カリグラフィー」

カリグラフィーは、西欧の文字を美しく見せるための手法です。

文字を美しく見せるという点では日本の書道と同じ部分もありますが、使用するのはペンなんですね！



② I learned about serif and san-serif typefaces,

S V M

about [varying the amount (of space (between different letter combinations))],

M V' O' about <what makes great typography great>.

S' V' O' C'

・ まず全体像を把握しよう。文構造は1文型(SV)。では、learned の後ろはどういう構造？

☞ 3つの about のかたまりに気が付いたか。学んだことが3つあるのですね。本当は3つ繋ぐときは、A, B and C と、and が入るのですが、今回は and が省略されています。ちなみに、1つ目の about のかたまりの中の and は serif と sans-serif を繋ぐ and ですね。

・ serif and san-serif typeface 「セリフ体とサンセリフ体」 typeface は「字体」

TEP

☞ この飾り部分（ひげ飾り）を serif（セリフ体）と言います。

TEP

☞ serif（ひげ飾り）がないものを san-serif（サンセリフ体）と言います。

これは、覚えなくてOK! 「ふ〜ん」くらいで流そう。興味のある人は深めてくださいね☺

Q. varying は動名詞？分詞？☞ 動名詞：品詞が名詞。前置詞の後ろに動詞を持ってくるときは動名詞 doing の形にする。「do すること」

・ vary O 意味（ ）シスタン p.19 既習単語、今回は他動詞です。

・ the amount of ~ 「~の量」 → 形容詞は various 「様々な」

覚える amount と number は前につく冠詞で意味が変わる！

・ the amount of ~ 「~の量」 ・ a large amount of ~ 「多くの~、大量の~」

・ the number of ~ 「~の数」 ・ a (large) number of ~ 「多くの~、たくさんの~」

※ the が付くと、その名詞本来の意味になるが、a が付くと「たくさんの、多くの」という意味になるので注意！もちろん、amount は「量」なので不可算名詞に、number は「数」なので可算名詞が続くね。

・ letter 「手紙」以外の意味は？☞ 「文字」 ☞ シスタン p.27 でやったね。派生語 combination も推測できたかな？

・ combination 「組み合わせ、結合」 ← combine O (動) 意味は？（ ）

・ varying the amount of space between different letter combinations 訳してみよう！

☞ 「異なる文字の組み合わせの間の空間（の量）を変えること」だね。

of 以下が前の amount に、between 以下が前の space にかかっている。それぞれ形容詞句。

つまり、こ う い う こと だね！

大袈裟ですが、異なる文字（『こ』と『う』、『う』と『い』など）の間の空間を変えていますね。

・ typography 「印刷デザイン、活版印刷、印刷の体裁」

Q. 3つ目のかたまり **what makes great typography great** の文構造と訳は？

☞ 5文型 make O C、文中で make が出てきたら 5文型かもと推測して読もう。

☞ 今回の what は疑問詞「何」と訳しても、関係代名詞「～するもの、こと」と訳しても OK!

ただし、疑問詞も関係代名詞も、主語の位置なら 3人称単数扱い。makes の s にチェック!

「何が素晴らしい印刷デザインをすばらしくするのか」「素晴らしい印刷デザインを素晴らしくするもの」  
について学んだんだね!



←何がこの『令和』を美しくさせているのだろうか？

字体だったり、文字と文字の幅だったり、他にもきっと何かあるよね。

～ちなみに、3つ以上同じものが続くと、具体例の合図です。今回の about～ の3つかたまりは『カリグラフィーの授業で学んだ内容』の具体例でした。模試などの長文を読む時、特に問いに関係のない具体例であれば、今回の serif、san-serif のような難しい単語が来ていても、「具体例だから」と割り切って先に読み進めていきましょう！ただし「何の具体例か」は確認しようね☺～

③ It was beautiful, historical, and artistically subtle (in a way <that science can't explain>).

S V C1 C2 C3

・まず構造を確認。and が繋ぐものは？

☞ 3つの形容詞 ☆and は同じもの（品詞）を繋ぐ。and が繋ぐものは、and の後ろの形と同じ物を前に戻って探すと探しやすいのですが、今回は artistically という副詞が入ってきて構造が見えにくくなっていました。

・ historical 「歴史の、歴史に関する、史実に基づく」ここは、「歴史のある」くらいで訳そう。もちろん、名詞は history だね!

・ artistically (副) 「芸術的に」もう推測できるのでは？ art (芸術) istical + ly  
名詞 形容詞 副詞

・ subtle (形) 「微妙な」 [sʌtl] ※発音注意! b は黙示 (読まない)  
今回は「繊細な」くらいで訳すと訳しやすい。

・ in a way that S'V 「S'Vする方法で、手法で」←この that は関係代名詞。  
way 「①道 ②方法 ③点 ④方向」

・ explain O 意味 ( ) シスタン p.69

Q. It は何を表している? ヒント: 単数形

☞ calligraphy (カリグラフィー)

～日本の書道も、beautiful, historical, and artistically subtle in a way that science can't explain だよ☺～

④ I found it fascinating.



・文構造はすぐに分かったか? ☞ 5文型: find O C

find を見たら第5文型 (SVOC) を疑おう!

・ fascinate O 意味 ( ) シスタン p.28

Q. 今回の fascinating は分詞? 動名詞? ☞ 分詞: **分詞の品詞は形容詞!** (動名詞は名詞) find O C の C の位置にきているから形容詞。fascinating は「人を夢中にさせるような」→「魅力的な、非常に面白い」という意味です。ちなみに、「させる動詞」なので、受け身で「～している」の意。I **was fascinated**. 「私は夢中になった。」

Q. it は何を表している? ヒント: 単数形 ☞ calligraphy (カリグラフィー)

・訳してみよう!

☆ find OC の訳し方: 「①OがCだと分かる ②OがCだと思う ③find を訳さない」

☞ 「①私はそれ (カリグラフィー) が魅力的なものだと分かった。」

「② " " と思った。」

「③それ (カリグラフィー) は魅力的なものであった。/私は魅了されました。」(find を訳出せず自然に訳す)

まずは、①、②を覚えればOK! 余裕がある人は③も頭に入れておこう。

文法問題や並び替え問題で③の訳で、find O C の形を答えさせるものがあります。